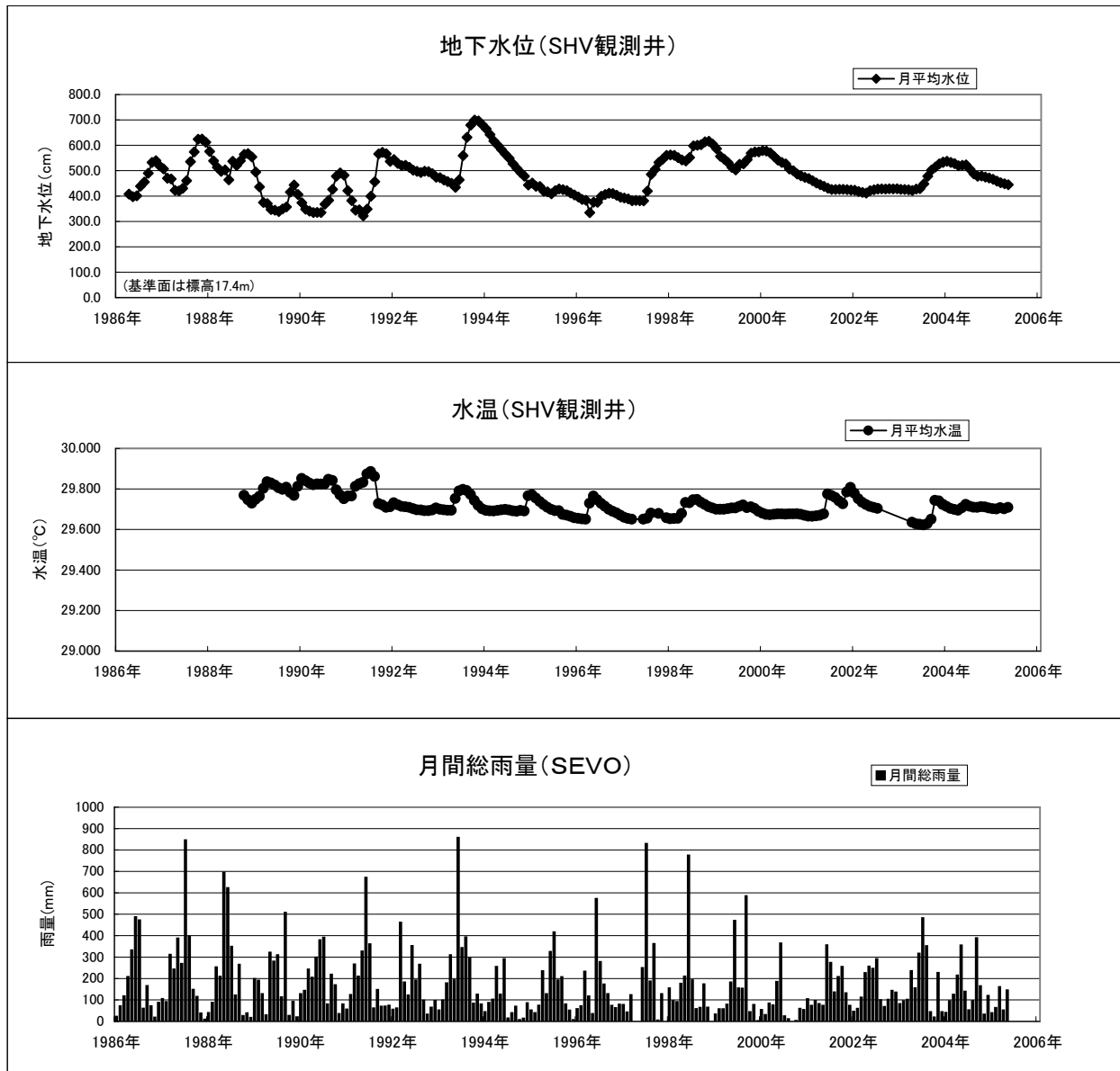


雲仙火山における地下水観測



地震火山観測研究センター・島原観測所温泉観測井(SHV観測井)における月平均水位・月平均水温・月間総雨量の観測結果
(2005年5月分の月間総雨量は気象庁アメダス島原を使用)

地震火山観測研究センター・島原観測所温泉観測井(SHV観測井)は、構内の標高47.9mの場所に設置された深さ365mの坑井である。水圧式水位計を地表から30.5m、水晶温度計を329mの深さに設置している。

当観測井の地下水水位は、時差3ヶ月・半減期12ヶ月の実効雨量(雲仙岳)と正の相関が強いことがわかってる。

水温は、微細変動が観測されるだけで、安定している。雲仙普賢岳の噴火活動最盛期の1991年後半以降、長期的には、ごく僅かな漸下傾向が認められる。